



みんなで工作中。西館児童館



左から泉帆ちゃん、彩純ちゃん、真愛ちゃん、大輔くん、裕吏くん、真健くんの1年生6人「イエーッ」

二人の案内で付いて行った先は、西館児童館。優しい先生が現れて、「どうぞ、中へ入ってください」のお誘い。ウム、ではせっかくですから。館内では十数名が、カラフルな材料を使って工作に夢中な様子。と、「アッ、さっきの変なおじさん！」に先生までもが大爆笑。先ほど駆けて行ったわんぱくとおぼしき一人からの、なんとも強烈な一撃に、あえなく撃沈された筆者でした…。

では、次回もめげずに、あってグッド！

あってグッド

歩いて会って何でも話す
ワクワクの突撃取材

市民の皆さんが
たくさん登場

これまでの
登壇者数 59人

84,700人
(H17.9.1現在)

「あってグッド」は、歩いて行くの方言「あってえぐ」と会って良かった(グッド)を掛け合わせもじったものです。

んだ。これはおれの専用自転車」と清一郎さん。「米だけでなく、転作で大豆30a、そば10aを作っている。米価が下がっているのが心配だな」。確かに、農家にとっては深刻な問題です。でもさっきから、電動アシスト付き自転車といい、三輪自転車は何台か見掛けています。もしかしてこの辺の人たちは、自転車にこだわりがある人が多いのかも。

授業が終わったのか、小さな子供たちが歩道に現れ始めました。チョコマカチョコマカじっとしている子なんかおりません。背中にゼンマイのねじでも付いているみたい。筆者に興味を持って集まってくれたのは、高松のねじでも付いているみたい。筆者に興味を持って集まってくれたのは、高松

泉帆ちゃん(笹館)、伊藤彩純ちゃん(二ツ森)、渡辺真愛ちゃん(達子)、荒谷大輔くん(羽立)、平裕吏くん(沼田)、花田真健くん(板戸)の1年生6人。「なあに？だーれ？」。市役所って知ってる？「知らない」。きみは？「ン…？」。まっいいか。後で広報見てネ。「コーホー？…」。ウム、やはり小学生は手強い。「習字に行かなきゃー」。あつチョッと待ってネ。やっと引き留め、なんとかカメラに納めることが出来ました。一安心、ホッ。

ゼンマイ仕掛けの一陣が去った後、話し掛けてきてくれた二人の女の子は、金沢梨央ちゃん(前田野)と菅原早紀ちゃん(羽立)。「さっきのは1年生。私たちは2年生よ」。さすが落ち着き具合が違います。「ネッ、私たちも撮って！」と積極的な梨央ちゃん。「私はイヤッ」と恥ずかしがり屋の早紀ちゃん。どうするの？「じゃあ、やっぱり撮っていいよ。ンーでもダメー」。最後まで決めかねている早紀ちゃんでした。



「勉強スキ」と梨央ちゃん(右)
「算数キライ」と早紀ちゃん(左)



Q「合併しての感想は？」
A「先々考えると良かったと思うよ」と清一郎さん